秋田高校 同窓会だより Vol.113

AKITA HIGH SCHOOL alumni association news

150th ANNIVERSARY AKITA HIGH SCHOOL

6月18日に総会開催

新生若菜会が初の総会開催へ

●あの頃の思い出 「柔道部の思い出」◎佐藤 隆夫 氏

交差点 ◎辻　良之 氏

エッセイ ◎田村 泰教 氏

ズームアップ ◎吉野 文 氏、宮崎 良 氏

表紙はドローンで撮影した校舎写真を水彩画風のタッチに加工したものです。

キャッチフレーズ・ロゴ決まる

創立150周年を記念するキャッチフレーズとロゴが決まった。
キャッチフレーズは今春卒業した髙橋獅希斗さん＝秋田市＝の作品。
ロゴは平成12年卒の長川吾一さん＝東京都江東区＝の作品。今後、150周年のさまざまなイベントを彩っていく（詳細は2面）

秋田県立秋田高等学校　●学校創立　明治6年（1873年）9月1日
●卒業生総数／39,712人（旧制中学7,080人、新制高校32,632人）　●在籍生徒数／817人（男子479人、女子338人）
●同窓会員数／40,177人　●物故者／10,667人　●現会員数／29,274人　［令和5年4月25日現在］
●ホームページ　https://akitahs-doso.jp　●E-mail　aki-doso@cna.ne.jp

創立150周年記念

キャッチフレーズ・ロゴ決まる

キャッチフレーズ

秋高150 ～伝統は常に変化と共にあり～

髙橋獅希斗さん（令和5卒）の作品

ロゴ

［カラー］

［モノクロ］

長川吾一さん（平成12卒）の作品

秋田高校は本年度創立150周年を迎えるにあたり、昨年12月から校内外に広くキャッチフレーズとロゴを募集していました。たくさんの応募の中から、全校生徒の投票をもとに、選考委員会と職員会議を経て、キャッチフレーズはこの春卒業した髙橋獅希斗さん＝秋田市＝の「秋高150～伝統は常に変化と共にあり～」に決定。

またロゴは平成12年卒の長川吾一さん（グラフィックデザイナー）＝東京都江東区＝の作品に決まりました。

キャッチフレーズ、ロゴは150周年のさまざまな場面でイベントを彩ってもらう予定です。同窓会の支部でもお使いになりたい場合は、同窓会事務局にお問い合わせください。

創立150周年記念事業

今後の予定

◆令和5年6月1日

硬式野球招待試合　（こまち球場）
招待校　鳥羽高校、秋田商業高校

09:00　記念セレモニー
10:00　第1試合（鳥羽高校）
13:00　第2試合（秋田商業）

◆令和5年9月1日

創立150周年記念式典（あきた芸術劇場ミルハス）
12:30～16:30（予定）　記念式典、シンポジウム、記念演奏を予定しています

創立150周年記念祝賀会
17:30（予定）（秋田キャッスルホテル）

実施済みのもの

プレイベント（校歌制定100年記念）
太平山登山、雄物川強歩、人文字撮影

天上天下 TENJO TENGE

最近の若者は愛郷心が強いと、30代前半の母校の後輩が言う。彼は、自分の少し下の年代から「ふるさと教育」が始まり、その影響ではないかと感じているそうだ。確かに最近、「秋田が好きだ。秋田に貢献したい」と話す若者が多く、われわれの世代とは大違いだと驚いている▼話題の「ＣｈａｔＧＰＴ」にふるさと教育について聞いたところ、初めてこの言葉が使われたのは1988年の「学校教育の再生に関する報告書」だそうだ。32～3歳の後輩が子どもの頃はもう始まっていたことになる。ふるさと教育も社会の変化に伴って変遷し、影響力を増しているのかもしれない▼教育と愛郷心の関係には異論もあろうが、秋田に住み地域課題の解決に取り組もうとする若者が増えているのを感じる。いかにも生命力が強そうな子が多い。ところが、「末は博士か大臣か」という価値観で育った親の世代にはそれが分からない。教師たちも、いい大学への合格者を増やすことを優先しがちだ。「秋田には何もない。苦労する」と言って止めようとする▼しかし、このまま人口の社会減が続けば秋田はどうなるだろうか。せめてそういう若者たちの邪魔をせずに見守ってほしい。

150周年プレイベント ～校歌制定100年～

太平山登山・雄物川強歩・人文字撮影

創立150周年を次年度に控えた昨年9月30日、150周年プレイベントが行われた。令和4年度は校歌制定から100年の節目の年であったため、校歌の歌詞に登場する太平山・雄物川に関するイベントが企画された。生徒は各自の希望により、登山・強歩・人文字撮影のいずれかに参加した（3年生は人文字撮影）。

当日は好天に恵まれ、どのイベントも大成功に終わった。各イベントの様子をまとめた動画は、同窓会のホームページから視聴可能。

太平山登山

旭又コース（旭又登山口～御手洗～山頂の往復。高低差約800m）
※山岳部OB会の会員が当日の登山をサポートした

参加生徒　約200人

山の登り降りは楽とはいえませんでしたが、グループの皆と励まし合いながらの活動になり、普段あまり話していなかった人とも仲良くなることができました。山頂から見える景色は本当に美しく、改めて校歌と重ね、思いをはせました。今回記念行事に参加することができ、幸運だったと実感しています。（1年）

すごくすごく楽しかったし、本当に貴重な経験ができました。私たちが山に登るにあたって沢山の方々が協力してくださり、周りの支えがあって秋田高校が成り立っているのだと感じ、感謝の気持で一杯になりました。同時に、応援してくださっている方々の期待に応えられるよう、秋高生としての自覚を持ち、着実に努力していかなければならないと感じました。（2年）

雄物川強歩

雄和体育館～サイクリングロード～秋田大橋～新屋海浜公園
（行程約18km）

参加生徒　約200人

雄物川強歩に参加して、最初は本当に18キロも歩けるのか不安でしたが、実際に歩いてみると友達と話しながらというのもあり思っていたより一定のペースで楽しく歩けました。歩いてみて気づいたのは雄物川の広さで、校歌の歌詞にある「海にと馳せ行く」の通りだなと思いました。また日光できらきら光っているのも綺麗でした。歩いていくと足はやっぱり痛くなりましたが、海が見えたときはとてもうれしかったし秋田の自然をたくさん感じられた一日でした。（1年）

約18キロを歩くのは体力的にも精神的にも辛いものがあったが、雄物川が見えてからは景色がとても綺麗でそれをモチベーションにして頑張ることができた。雄物川をあんなに近くで長い時間見たことはなかったので見ることができてよかった。最終的には歩き切った達成感と雄物川の景色が強く印象に残り、やってよかったと思うことができた。いい機会だった。（2年）

人文字撮影

学校グラウンドで実施。ドローンによる撮影

参加生徒　約400人

人文字は小学校の頃一度だけやったことがありましたが当時小2だったためにあまり記憶はなかったので、高校生になってからはひとりの秋高生として「秋高の歴史を作る」という気持ちを強く持って参加することができました。このような人生で多く経験できない行事を大切にしてこれからの高校生活を過ごしたいです。（1年）

創立150周年と校歌制定100年という節目の時にこのようなイベントに参加できて特別感を感じた。人数が多く、生徒主体の学校だからこそできたイベントに参加できてよかった。今後も秋高生の一員として何事にも頑張っていきたい。（2年）

脈打つ歴史、母校150年 節目祝う記念事業を展開

母校・秋田高校は今年9月1日、明治6（1873）年の創立から数えて150年の節目を迎える。学校沿革によると、母校の始まりは秋田市東根小屋町の日新学校内に洋学科を増設、洋学校と称した明治時代の黎明期にさかのぼる。以来、秋田県第一中学校、秋田県立秋田中学校等の流れをくみ、戦後の学制改革に伴う秋田県立秋田南高校を経て昭和28（1953）年、校名を現在の秋田県立秋田高校に改称した。県内では最古の歴史と伝統を誇る。全国に目を向けても、同じ明治6年に創立の源流をたどる高校は他に延岡高校（宮崎）、北野高校（大阪）などわずか5校しかない。150周年記念事業を展開するため部門別に設置された各委員会の準備作業は追い込み段階に入った。主な委員会の取り組みを紹介する。

会員名簿第42号は完全予約販売です

名簿委員会

同窓会員名簿第42号を9月1日の発刊を目指し、年次名簿委員の協力を得て作業を進めております。ご購入を希望される方は、今号の同窓会だよりに同封した「販売のご案内」をご覧ください。申し込み締め切りは6月30日とさせていただきました。完全予約販売で、価格は送料込み5，500円（通常価格6，600円）。A4版（縦型）1000ページを予定しております。インデックスを付け、文字が大きく見やすい体裁としました。

なお、名簿巻末に掲載する協賛広告を募集しております。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

同窓会員名簿 第42号（本年9月発行）

完全予約販売制　購入予約受付中

詳しくは同窓会だよりに同封の申込書を参照してください。　名簿委員会

冷暖房・空気調和・換気・給排水
衛生設備設の設計・施工
羽後設備株式会社
代表取締役社長
佐藤 裕之（昭和55年卒）
〒010-0917
秋田県秋田市泉中央二丁目2番29号
TEL 018-863-0202
FAX 018-863-0205

住宅流通グループ
代表取締役社長
北嶋 暢哉（昭和55年卒）
秋田市山王七丁目9番35号　総務課
tel.018-864-4717　fax.018-874-7421
株式会社秋田住宅流通センター
株式会社あきたタウン情報
株式会社あきたマネジメントサポート
株式会社秋田ビーシーエー
株式会社秋田ウエブコンテンツ

うまい酒 千代緑（チヨミドリ）
有限会社 奥田酒造店
奥田重徳（昭和55年卒）
秋田県大仙市協和境字境113番地
電話：018-892-3001

GALA AMANO
代表取締役
天野洋介（昭和55年卒）
有限会社ガーラ・アマノ
【ホームページ制作・動画制作】
秋田市川尻若葉町1-33 マエタビル3F
TEL:018-883-1102

記念式典終了後に同窓会主催で祝賀会を開催

行事委員会

令和5年9月1日（金）記念式典終了後（17時半）に、秋田キャッスルホテルを会場に同窓会主催で記念祝賀会を開催する予定です。

令和元年以降、総会での懇親会は中止していることから、約4年ぶりの酒席を伴う会合の年となります。140周年の際の440人以上の参加が見込まれることから、学校や当番年次と協議しながらアトラクション、進行等の検討・準備を具体的に進めております。

参加希望者は同窓会事務局までの事前申し込み・会費の事前振り込みとします。6月中にはホームページや年次等を通じてご案内します。

また、広報委員会の協力と同窓生各位の協賛広告により、9月1日付秋田魁新報に創立150周年特集企画を掲載する予定です。

同窓諸氏のヒューマンストーリー集

新先蹤録委員会

2003年の創立130周年に刊行した「先蹤録（せんしょうろく）」の続編となる「新先蹤録」の編纂を進めています。さまざまな分野で足跡を残す38人の同窓諸氏を紹介するヒューマンストーリー集で、350ページほどのボリュームになる予定です。若い世代の秋高卒業生、現役生徒たちの道しるべともなる記念書籍にしたいと考えています。3，500部刊行し、令和5年9月1日の150周年記念式典の記念品とするほか、関係機関への贈呈、書店・インターネットでの一般販売を予定しています。

完成間近となりました。これまで原稿執筆等にご協力いただいた多くの皆さまに深く感謝申しあげます。

ちなみに、130周年に刊行した先蹤録は、秋田高校同窓会ホームページでご覧いただけます。

どこかのページに3年間の思い出が

150年史委員会

「100年史」以降の50年間について力を入れて編集しております。目玉としては次の10項目です。

1. 福沢諭吉が門下生を教師として派遣（明治編）
2. 明治26年尋常中学校入学許可証確認
3. 甲子園全国大会決勝戦のスコア（大正編）
4. A.L.Tの思い出
5. 秋高祭パンフレットの紹介
6. 今はない行事（合唱コンクール、太平山登山、全校マラソン）
7. 生徒手帳に見る授業形態　65分、55分授業
8. 着装の自由化の評価
9. 部活の記録（成績と部誌の紹介～「ばっけ」、「琢磨」、「南暁」など）
10. 木札の謎、卒業記念品の変遷

数多くの方からの新たな情報に基づき原稿作成・編集に努めました。情報を提供された方々に深く感謝致します。卒業生の皆さまの3年間の思い出がどこかのページに必ずあります。ぜひ探してみてください。

「同窓会だより」の臨時増刊号を発行

広報委員会

母校・秋田高校の創立150周年を祝い「同窓会だより臨時増刊号」を発行し、9月1日の記念式典当日に参加者に配布、さらに11月発行の定期の「同窓会だより」に同封することにし、準備を進めております。

財界や学界、文壇、スポーツなどさまざまな分野で活躍する同窓生22人に3月初旬、執筆依頼を送付させていただきました。趣旨は「次代を担う在校生や未来の秋高生たちに伝えたいこと、期待することなどを、ご自身の高校時代の思い出やエピソードを交えながら自由に執筆していただきたい」という内容です。

早速「大変光栄に思う。喜んでお受け致します」等の返信メールが届いており、中には5月末と設定させていただいた締め切りを前に、既に原稿を送っていただいた方も。ご多忙な中、ただただありがたく、ひたすら感謝する次第です。

執筆依頼を受け取った方々には、お忙しいところ恐縮ですが、何卒当委員会の企画の趣旨にご賛同いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量・GIS
株式会社眞宮技術
代表取締役会長
眞宮　昌（昭和55年卒）
〒010-0951 秋田市山王5丁目11-9
TEL：018−866−3062
FAX：018−863−4223
http://www.tec-mamiya.co.jp/

おのば高橋小児科クリニック
院長
高橋　康（昭和55年卒）
●小児科　●アレルギー科
TEL.018-892-6600
秋田市仁井田字中新田78

SHIMIZU DENTAL CLINIC
医療法人
清水歯科医院
理事長 清水 隆夫（昭和55年卒）
〒010-0341 男鹿市船越本町1-29
TEL 0185-35-3737
FAX 0185-35-3080
URL http://www.shimizu-dc.net

守る、つくる、支える
猿田興業
代表取締役社長
猿田　知久（昭和55年卒）
猿田興業株式会社
〒010-0951 秋田市山王6丁目10番9号
猿田興業ビル　3階

同窓会入会式

263人が新たに仲間入り

令和4年度同窓会入会式が2月28日、母校体育館で行われ、卒業生263人が新たに会員となった。毎年、卒業式前日に行われる入会式。過去2年は新型コロナウイルス感染予防のため、県外で国公立大学の前期試験を受験した生徒の待機期間を考慮し、卒業式を3月3日に行ったため3月2日に実施されたが、今年は3年ぶりに例年通りの日程で行うことができた。

初めに銭谷眞美会長が、「高校3年間に何かしら心に残る経験があったと思う。思い出を大切に、選んだ道を堂々と歩んでいってほしい」と歓迎の辞を述べた。

同窓生代表として挨拶に立ったのは、武藤工芸鋳物の専務取締役、武藤元貴さん（平成20卒）。高校時代から地域の活性化や、竿燈祭りに熱中、東京農工大学大学院では稲作地帯の副産物である稲わらのエネルギーへの活用について研究した。東京でも地域の盛り上げに携わろうとイベント会社などで働いた後に帰郷。今は鋳物の技術で社会に貢献するため日々研鑽を重ねている。

銭谷眞美会長

武藤さんは東京で年1回行われている秋高同窓会に出席した時のことに触れ、さまざまな業界の先輩の話を聞くことができたのは貴重な体験だったと述べ、「転職の時も、『ちょっと働いてみるか』と声を掛けていただいたり、たいへん恩を受けた」と、同窓会の人脈が人生の節目で役立った自身の経験を紹介した。

武藤元貴さん

さらに「先輩から受けた恩を先輩に返そうとしても若輩者の自分にできることなど限られている。それよりも、同窓会には毎年新しい後輩が入ってくるのだから、先輩から受けた恩は後輩に送ることによって返そうと思った」と述べ、先輩から後輩へと「恩送り」をしていこうと呼び掛けた。

八塚凛奈さん

続いて、銭谷会長から記念品を受け取った新入会員代表の八塚凛奈さんは、「この3年間は、常にコロナウイルスに翻弄（ほんろう）された日々だった」と多くの学校行事が中止され、友達付き合いやクラブ活動すらままならなかった高校生活を振り返りつつ、「秋田高校の卒業生であることを誇りに思い、同窓会員として活動に参加していきたい」と決意を述べた。

最後に、過去3年の入会式では歌うことができなかった校友会歌を、マスクをしたままではあったが、応援団OB会紫紺の会のリードで歌うことができた。生徒や教職員だけでなく同窓会関係者も感激ひとしおであった。

新生若菜会

～ 初の通常総会のお知らせ ～

秋高女子卒業生の会である若菜会は、2020年に新たなスタートを切りました。創立150周年の今年、コロナ禍のため見送られてきた通常総会を再発足後初めて開催します。多くの女子卒業生に参加していただけるよう同窓会総会の日の午前11時30分から行うことにしました。総会後、軽食を取りながら情報交換会を行います。

・日　　時　令和5年6月18日（日）
　　午前11時30分～
・場　　所　秋田キャッスルホテル
・会　　費　2，000円（当日徴収。資料代、通信費、軽食代を含みます）
・そ の 他　記念写真は希望者のみ
　　別途1，000円で申し受けます。（当日徴収）
・申　　込　この「同窓会だより」に同封している同窓会総会出欠はがきの若菜会の欄に記入してお申し込みください。
　　同窓会総会申し込みと同様、FAX、Eメールでの申し込みも受け付けます。

若菜会は秋高女子卒業生の会です。お誘いあわせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。午後からの同窓会総会も皆さまご一緒に、ぜひご参加を!

令和5年度総会 ～ 6月 18 日に開催 ～

令和5年度通常総会・講演会並びに4年ぶりとなる懇親会を下記により開催します。

・日　　時　令和5年6月18日（日）
・場　　所　秋田キャッスルホテル
　　秋田市中通1-3-5　電話 018-834-1141
・総　　会　午後2時～
　　議題　令和4年度 決算・事業報告
　　令和5年度 予算・事業計画
　　創立150周年記念事業ほか
・記念講演　午後3時30分～
　　演題　**『汝、何のためにそこにありや』**
　　講師　佐々木広人氏（平成2卒）
　　編集者／㈱キュービック エディトリアルデスク GM／専修大学文学部講師／アサヒカメラ元編集長／AERA dot.元編集長
　　・YouTubeで生配信予定（同窓会ホームページから視聴可）
・懇 親 会　午後4時40分～
・会　　費　6,000円　当日会場でいただきます。
・申　　込　ご出席の方は、今号の同窓会だよりに同封の出欠はがきに必要事項を記入の上、63円切手を貼り、6月8日までに到着するよう同窓会事務局にお送りください。FAX、Eメールでのお申し込み、同窓会ホームページの「連絡フォーム・行事連絡（総会出席のお届け）」もご利用ください。

［同窓会事務局］
ＦＡＸ 018-832-9588　　E-mail：aki-doso@cna.ne.jp

今春の進路状況

東大6人、東北大36人、医学部医学科28人合格

この3月には7クラス263人の3年生が秋高を巣立っていきました。就職希望が1人、その他は進学希望で、共通テストは257人が受験しました。このうち、国公立管外大学の合格延べ人数は174人で、昨年度より4人多くなりました。

大学別では、東京大学は現役が4人、過卒が2人で合計6人（昨年は現役のみ6人、昨年度比±0）でした。現役合格者数は東北地区で八戸高、仙台二高に次ぎ、盛岡一高と同数の第3位でした。東京大学の推薦は今年2人合格（医学部医学科1人・工学部1人）で、東大推薦入試が始まって8年で本校の総合格者数は11人（通算全国3位）となりました。秋田大学の医学部医学科には現役で9人（昨年比－6）、過卒で9人、合計18人が合格しました。

他の国立大学では、現役と過卒を合わせて、北海道大学4人（－1）、一橋大学1人（±0）、東北大学36人（－4）が合格しました。東北大に関しては、総合格者数は減らしたものの、AOⅡ期合格者が10人で、3年連続二桁合格者を出している高校は全国でも秋高だけとなっています。

医学部医学科には現役と過卒延べで28人（－4）が合格、そのうち国公立大学は20人（－3）でした。内訳は、東京大学1人、秋田大学18人、金沢大学1人です。

私立大学は現役と過卒延べで195人が合格しました。最も合格者が多かったのは東京理科大で13人、次いで早稲田大学12人でした。慶應義塾大学は1人でした。私大の合格者数内訳は、現役125人（＋3）、過卒70人（－22）でした。ここ数年、コロナ禍や共通テストの難易度の乱高下が影響して、地元志向や安全志向が加速しており、国公立大の出願において、「前期挑戦―後期安全」型の出願が増加し、私立大学受験者数・浪人数ともに減少しています。

3年生全体に対する合格率は83・5％（昨年85・4％）でした。

秋田高校では、高い志で最後まで諦めずに努力し続ける生徒の姿勢を支え、能力と可能性を飛躍させる環境への進学を勧めています。今年度も多くの生徒がこの指導のもと大きな頑張りを見せてくれました。生徒の第一志望達成のため、生徒・保護者・教職員で、しっかりと目線を合わせた進路指導を実現していきたいと思います。

（進路指導部）

大学合格状況一覧　令和5年3月31日現在

国公立管外大

大学名	現役	過卒	計	大学名	現役	過卒	計
北海道大	4	0	4	金沢大	1	0	1
北教大岩見沢校	0	0	0	信州大	5	2	7
弘前大	2	0	2	静岡大	3	1	4
岩手大	4	0	4	名古屋大	0	0	0
東北大	32	4	36	名古屋工大	1	0	1
秋田大	31	13	44	京都工芸繊維大	1	0	1
山形大	2	1	3	奈良女子大	1	0	1
福島大	2	0	2	島根大	1	0	1
茨城大	3	0	3	九州大学	0	1	1
筑波大	4	1	5	鹿屋体育大	1	0	1
宇都宮大	3	0	3	公立千歳科学技術大	1	0	1
埼玉大	4	1	5	青森県立保健大	0	0	0
千葉大	2	0	2	岩手県立大	2	0	2
お茶の水女子大	0	1	1	秋田県立大	2	0	2
電気通信大	0	1	1	国際教養大	6	0	6
東京大	4	2	6	福島県立医大	0	0	0
東京外国語大	1	0	1	群馬県立女子大	0	0	0
東京海洋大	1	0	1	高崎経大	4	0	4
東京学芸大	6	0	6	前橋工大	0	1	1
東京芸大	0	0	0	東京都立大	2	0	2
東京農工大	1	1	2	新潟県立大	0	0	0
一橋大	0	1	1	岐阜薬大	0	1	1
横浜国立大	5	0	5	防衛医科大学校	0	0	0
新潟大	31	3	34	国公立管外大計	174	36	210
富山大	1	1	2				

医学部医学科

大学名	現役	過卒	計
東京大学	1	0	1
秋田大	9	9	18
新潟大	0	0	0
金沢大	1	0	1
福島県立医科大	0	0	0
岩手医大	0	1	1
東北医科薬科大	0	3	3
自治医科大	1	1	2
埼玉医科大	0	1	1
獨協医科大	1	0	1
金沢医大	0	0	0
大阪医薬大	0	0	0
医学部医学科計	13	15	28

私立大

大学名	現役	過卒	計	大学名	現役	過卒	計	大学名	現役	過卒	計
札幌大	0	1	1	共立女子大	0	2	2	法政大	7	4	11
北海学園大	3	1	4	杏林大	0	2	2	武蔵大	1	0	1
北海道科学大	2	0	2	慶応大	1	0	1	東京都市大	2	1	3
岩手医大	2	2	4	工学院大	1	0	1	武蔵野美大	2	0	2
仙台大	1	0	1	駒澤大	5	0	5	明治大	2	1	3
東北学院大	6	0	6	芝浦工大	4	3	7	明治学院大	1	0	1
東北医薬大	3	4	7	上智大	1	0	1	明治薬大	4	0	4
宮城学院女子大	1	0	1	昭和薬大	0	1	1	立教大	3	4	7
東北芸術工大	1	0	1	成蹊大	4	1	5	早稲田大	7	5	12
自治医大	1	1	2	大東文化大	2	0	2	学習院女子大	0	1	1
獨協医大	1	1	2	多摩美大	2	0	2	神奈川大	3	1	4
獨協大	1	0	1	中央大	0	1	1	名城大	0	1	1
埼玉医大	0	1	1	津田塾大	1	1	2	新潟医療福祉大	2	0	2
文教大	4	0	4	帝京大	1	0	1	山梨学院大	2	0	2
江戸川大	2	0	2	東京経大	0	1	1	同志社大	5	3	8
神田外語大	1	0	1	東京女子大	4	0	4	立命館大	0	5	5
千葉工大	2	0	2	東京電機大	1	1	2	大阪医薬大	0	1	1
東京情報大	1	0	1	東京農大	0	1	1	近畿大	1	1	2
青山学院大	2	0	2	東京理大	3	10	13	関西学院大	1	1	2
亜細亜大	2	0	2	東邦大	1	0	1	神戸薬大	0	1	1
桜美林大	1	0	1	東洋大	3	1	4	私立大学計	125	70	195
大妻女子大	3	0	3	日本大	7	2	9				
学習院大	0	2	2	日本女子大	1	0	1				

※合格はすべて延べ数です

令和5年度教職員人事異動

【退職】		
非常勤技師	高橋直人	
【転出】		転出先
副校長	庫山　徹	横手清陵学院中高　校長
教諭	吉原東吾	秋田中央高校
教諭	鈴木修一	秋田中央高校
教諭	小野　曜	男鹿工業高校
教諭	米川　覚	羽後高校　教頭
教諭	笹渕夏子	由利高校
教諭	高橋　大	高校教育課　指導主事
主事	児玉拓海	釈迦内小学校
技能主任	伊藤　譲	大曲工業高校
臨時講師	渡邉千尋	秋田北高校
臨時講師	土佐龍馬	秋田南高校
【昇任】		
教育専門監	佐々木繁樹	秋田高校　教諭
【転入】		転入元
副校長	佐藤隆一	秋田西高校　教頭
教諭	鈴木和人	由利高校
教諭	金　敬子	秋田南高校
教諭	松橋弘光	秋田中央高校
教諭	藤原　淳	御所野学院高校
教諭	千田玲央奈	雄物川高校
教諭	菊地達八	本荘高校
実習助手	露崎由美子	明徳館高校定時
主任	伊藤瑚津絵	雇用労働政策課　主事
技能主任	宮本弘樹	秋田きらり支援
臨時講師	加賀智大	本荘高校
臨時講師	阿部歩輝	秋田工業高校
非常勤講師	岩川克敏	秋田明徳館高校
臨時講師	佐賀　薫	秋田高校
臨時講師	藤澤真樹	秋田高校
非常勤講師	小松けい子	秋田高校
非常勤講師	佐藤　武	秋田高校
非常勤講師	中野　舞	秋田高校
非常勤技師	豊島輝実	

交差点

第20代会頭に就任して

秋田商工会議所会頭　辻　良之（昭和50卒）

昨年の十一月一日の秋田商工会議所臨時議員総会において、第二〇代会頭の職を拝命致しました。

父が長くその職にあったこともあり、また、三浦前会頭の下で二期六年間、副会頭を務めさせていただいておりましたので、その激務の度合い、責任の重さは、自分なりには感じておりました。

しかし、就任して半年が経過しましたが、経験的にも能力的にも自分の未熟さを思い知らされ、毎日が勉強の連続で、何とか自分を見失わずに、与えられた三年間の任期を全うできるように精進してまいる所存でございます。

「秋田商工会議所 2023年新年祝賀会」にて

私はこの任期の中で、三浦前会頭が掲げられた「新たな挑戦で元気創出」を継承し、今後の秋田の発展に向けて、次の五点に特に力を入れて取り組みたいと考えております。

まず、一点目は「カーボンニュートラルへの取組み」です。ご存じの通り秋田は今、洋上風力発電が全国的に注目を集めておりますが、風力に限らず、地熱、水力、バイオマス等の再生可能エネルギー供給の先進地域としての優位性を、地域振興の千載一遇のチャンスと捉え、関連産業のサプライチェーンの構築や人材育成、新規事業への県内企業の参画に関わっていきたいと考えております。

二点目は、「秋田市中心市街地の活性化」であります。「あきた芸術劇場ミルハス」がグランドオープンし、中心市街地の来訪者も増えてきております。今後は芸術文化ゾーンとしての魅力の向上、集客の促進に繋がるよう、さまざまなイベントを開催し、さらに千秋公園の魅力を掘り下げ歴史観光の核となるように努めてまいります。

第三に「秋田港の港湾機能の強化」です。秋田港湾計画に記されている岸壁等の整備はもとより、秋田港アクセス道路の早期整備、秋田道秋田北ＩＣ・秋田南ＩＣの4車線化整備についても、関係機関との協議を重ね、強く要望してまいります。

第四は、「環日本海交流の推進」です。秋田商工会議所は、過去三代の会頭が、環日本海の交流に力を入れてこられており、日中韓露の四地域による経済交流会議の枠組みが合意されております。政治的にも現在の国際情勢では非常に難しいところがありますが、情勢をよく見極めた上で、国際交流に取り組んでまいります。

そして第五は「中小・小規模事業者への経営支援」であります。コロナや経営コストの上昇、人件費負担増で苦しむ中小・小規模事業者に対し、国、県、市の新たなる支援策を活用した経営指導員による伴走型支援に加え、中小企業活性化協議会や事業承継・引継ぎ支援センター等の組織を総動員し、再生支援、後継者対策にも取り組んでまいります。

秋田商工会議所は本年創立百十六周年を迎えます。これまで幾多の困難を乗り越え、この歴史と伝統に刻まれた先人たちの思いを是非、次世代の人たちに引き継ぐ役割があると思います。同時に今、秋田は長きに亘った停滞から変革への大転換期にあると認識しております。秋田商工会議所会頭として、将来に希望の持てる秋田の創造に向け、行動してまいる所存でございます。

どうぞ同窓会の皆さまにも、今後とも宜しくご指導、ご鞭撻（べんたつ）の程をお願い申し上げて挨拶と致します。

Profile

つじ・よしゆき／1956年秋田市生まれ。慶應義塾大学法学部卒。総合商社勤務を経て2004年秋田いすゞ自動車 代表取締役社長に就任。現在、辻兵商事・辻不動産の社長、グループ企業である富士フイルムBI秋田・コマツ秋田等の会長の他、複数の地元企業取締役、県内外の業界団体役員を兼務する。2022年11月に秋田商工会議所会頭に就任。現在に至る。秋田高校同窓会副会長。

ZOOM UP!

みやざき・りょう／1950年秋田市生まれ。慶應義塾大学中退。会社経営を経て、花苗と園芸雑貨「花と風の村to・ko・to・ko」創業。花束のような寄せ植え「プランツギャザリング」の教室を主宰。JAPAN plants gathering society 会員。JPGS本部認定講師としてギャザリング講師の指導にあたり現在に至る。

人生の第4コーナーを花と共に駆ける

宮崎 良（昭和43卒）

還暦目前それまでの会社経営から花屋のおやじへと転身。秋田では初めてのサンプルガーデンの中で花苗を売る宿根草専門店としてオープン。全くの露天なのでレジは手作りの小屋の中で。その業態の物珍しさからマスコミ各社より数々の取材をいただき、おかげさまで県内外の花好きさんたちに知っていただけるお店となりました。

そんな中、園芸雑誌でふと目にした「まるで切り花のフラワーアレンジメント」のごとく植え込まれた寄せ植え画像に衝撃を受けました。一体これはどの様に植え込まれているのか?誰が考えた技法なのか?興味のるつぼにはまり込んだのが8年前。愛知県の青木英郎先生が創案した寄せ植え技法（通称ギャザリング）と知り、早速ギャザリング修行の道に入りました。今でこそギャザリングは園芸界において新しい寄せ植え技法として認知されるまでになりましたが、当時はまだ花好きさんの間でも知っている方はまれでした。こんな画期的な素晴らしい寄せ植え技法をより多くの方々に知ってもらいたいとの思いを強くし、講師資格を取得し7年前北東北初のギャザリング教室を秋田の地で開校。また園芸イベントでのデモンストレーションやワークショップの開催を通して県内外の花好きさんたちの間で評判となり、たくさんの方々からレッスンを受講いただけるようになりましたが、よりもっと大勢の方々にギャザリング技法を広めていきたいとの思いから先生を育てる本部認定講師の資格を取得。秋田県内はもとより青森県などの当教室から巣立った30人近い講師の皆さんと共に、青木式ギャザリング技法の普及に努めております。

加齢と共に広いガーデンの管理も難しくなり、現在は秋高グラウンド後ろの交差点脇に店舗を移し、寄せ植え&ギャザリング専門店として秋高生の登下校を見守りながら、お花との関りを続けております。

RYO.TOKOTOKO

「動物と人との懸け橋」への道

吉野 文（平成30卒）

目指すのは、動物と人との懸け橋！

そんな夢を持つようになったのは、中学生時代でした。幼い頃から生き物が好きで、動物園・水族館巡りが休日の楽しみでした。生き物に触れ、知っていく中で、好きから学びたいという思いに変化していきました。

生物について学ぶ中で環境破壊などの大きな問題の解決に直接的には関われなくても、大好きな生き物のためになることがしたい―と思い、たくさんの動物と実際に触れ合いながら学び続けることができる飼育員の仕事に興味を持っていきました。そして去年、目標を達成し地元の大森山動物園で飼育員になることができました。

私が子供の頃に見ていた飼育員は、動物と語り合っているように見えました。それはまさに「動物と人との懸け橋」でした。

憧れの職業について1年が経ちますが、飼育員になれたとは言え「動物と人との懸け橋」への道は険しいと感じています。

毎日の飼育業務は基本中の基本であり、その他に毎日起こる動物の変化に気付き、素早く、正しい判断をしなければ動物の生き生きとした姿を来園者に見てもらうことはできません。判断するためには、勉強と経験から得た知識と技術が必須です。自分だけではどうしようもないことが多い中で、知識と経験が豊富な先輩方についていくことに必死な飼育員1年目を過ごしました。

飼育員の仕事は動物を飼育するだけではありません。来園者にいかに楽しんでもらうか、どんな学びを提供するのか毎日考えて工夫します。動物の目線だけではなく来園者の目線も持って仕事をする、広い視野がとても大切です。広い視野は意識しなければ持てないものだと毎日強く感じています。

1年目の私には足りないものだらけで、うまくいかないこともたくさんあります。仕事でうまくいかないとき、ヒントをくれるのは高校時代に出会った尊敬できる友人たちです。自分の将来や受験などいろいろな不安を抱えながらも同じ時間を楽しく過ごした友人たちは話しているだけで活力をくれる存在です。社会人になった今も職業は違えど、悩みを相談し合い、お互いに励まし合える存在がいることはとても幸せなことだと改めて感じています。

飼育員1年目は悩むことも多かったけれど自分に必要なものに気付けた1年になりました。2年目以降も支えてくれる人たちに感謝しながら、貪欲に学んでいこうと思っています。

よしの・あや／1999年秋田市生まれ。三重大学生物資源学部卒。2022年 秋田市大森山動物園～あきぎん オモリンの森～動物専門員となる。

あの頃の思い出 11

「濃密」な時間を過ごす

柔道部の思い出

佐藤 隆夫（66）＝昭和50卒

さとう・たかお／昭和31（1956）年7月秋田市生まれ。同54（1979）年慶應義塾大学卒業後秋田銀行に入行。平成28（2016）年同行を退職。コンサルティング会社を経て令和3（2021）年8月より「秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点」マネージャー。地元企業へプロ人材を斡旋し課題解決を支援している。

「青春って、すごく密なので」夏の甲子園優勝校の仙台育英の監督の言葉に多くの人が感銘したと同時に、それぞれの青春時代を振り返ったことと思います。

私も今は遠くなった高校時代を懐かしく思っていたところ今回のお話をいただきました。

私の高校時代は柔道をなくしては語れませんが、密な時間を過ごしたのはわずか1年余りで、そこに至るまでの迷いや悔みを秋田高校という学びやがゆっくりとほどいてくれた3年間だったと思います。

私は昭和47年4月に秋高に入学しました。この年から秋田高校は服装が自由化され、入学式では、生徒会長が祝辞で、新入生が全員制服だったのでとても残念だーと言われたこと、最初の授業が英語で行われ、全く聞き取れずショックを受けたことなどを思い出します。これまでとは価値観や環境が全く違う世界にきて、精神的にかなり動揺していました。

船木隆良先生に誘われ入部

そのような頃、眼光鋭い風貌ながら優しく落ち着いた語り口で柔道部への見学を誘う先生がいました。恩師である船木隆良先生との初めての出会いです。ほどなくして見学に出かけたのですが、部員は先輩を含め5人ほど、道場の半分はレスリング部が使用しておりました。先生いわく「三週間もすれば体も慣れ楽になるから」などと言われ、さしたる深い考えもなく翌日から練習に参加しました。

「文武両道」――。当時も現在もかわってはおりませんが、「秋高生は将来のそれぞれ進む道のリーダーになるから、柔道だけに時間を取らせてはいけない」「幅広い視野を持つよう高校生活を送らせたい」――という指導方針のもと、練習は午後5時半ころまでの短時間集中型でした。部の伝統や先生の考えを理解するまではしばらく時間を要したのですが、1年生の私には、とにかく練習がきつい。練習時間が迫るにつれ気分がめいる毎日で、3週間耐えれば楽になるとの言葉を信じて練習に向かうのですが、楽になるどころか腕立て伏せ・腹筋の回数は増えて、次々に現れる個性ある先輩の指導、対

昭和49年福岡インターハイ出場（長崎にて）

おおくぼ脳神経頭痛クリニック
OKUBO CLINIC
院長
大久保 敦 也
（平成２年卒）
TEL：018-827-7517
〒010-0041
秋田市広面字近藤堰越31-3

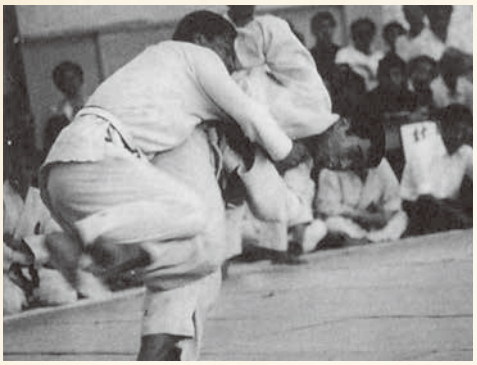
Inaba
いなば御所野乳腺クリニック
Inaba Breast Clinic
日本乳癌学会認定施設
■3Dマンモグラフィ
■乳がん検診
■がんCTドック
院長
医師・医学博士
日本乳癌学会 認定乳腺指導医・専門医
稲葉 亨 Toru Inaba （平成2年卒）
〒010-1412秋田県秋田市御所野下堤2丁目1-9
TEL:018-838-1785 FAX:018-838-1782
E-mail：toru@inaba-breast.com
https://inaba-breast.com

医療法人清心堂
湊小児科医院
理事長 医学博士
湊 元 志（昭和55年卒）
TEL.018-834-5621
秋田市中通５丁目７－34

外試合では強豪校の選手に全く歯が立たない日々が続きます。サボること、逃げることだけ考えていたのが本当のところです。

授業が終わると道場に直行して掃除を行います。道場の足元には小窓があるのですが、そこから下校する生徒が見える。服装自由化の時代ですから青春を謳歌（おうか）している生徒たちを見て、うらやましいと感じたことは一回や二回ではありませんでした。

2年生になり、少しは様になってきたわれわれに、県警の機動隊が出稽古に来てくれるようになりました。秋高の坂を機動隊のバスが上ってくるのは、ある意味異様な光景であったと思いますが、稽古をつけてもらうわれわれは「今日あたり来るかな」と戦々恐々の日々を過ごしていました。当時の秋田県警機動隊は全日本選手権に出場する選手も複数いて、その強さたるや全国でも有数であったと思います。練習が始まると私を含め部員たちが、ひらひら舞うがごとく投げられます。今は



昭和49年全県大会優勝（奈良　博）

新しい道場となっていますが、旧道場の天井には私の足跡がついたくらい高く投げられたことを覚えています。

練習は夕方5時半くらいで終わりますが、練習後の解放感は特別なものがあります。時間はありますから、社会勉強（寄り道）をしながら帰ります。最初に寄るのは坂の下のパン屋さん、軽く腹ごしらえをし、インベーダーゲームが社会現象になっていた時期であり、勉学どころか穴倉のような喫茶店に潜り込みます。夜は再び集合して、時折互いの家に泊まり込んでは時間を過ごしておりました。日中はもちろん他の運動部員ともども教室で英気を養います。そのようなわれわれを先生もおおらかに見守ってくれていました。小学校3年の春だったと記憶していますが、偶然全日本柔道選手権のテレビ中継を見ることがありました。柔道は見たこともなかったのですが、場外際での大外刈りが決まった瞬間、すごく美しいと感じました。のちにこの勝者

生徒との練習にも全身全霊を傾ける船木隆良先生

が秋高の大先輩村井正芳さん（昭和36卒）であることを知ります。中・高・大学と柔道部員として過ごし多くの凄い試合を見てきましたが美しいと感じたのはこの試合と全県優勝を決めた大将北林一成君（昭和50卒）の逆転の大外刈りだけです。秋高では「姿勢のよい柔道、正しく組んだ柔道」を指導しますが、偶然にもその真髄をはるか昔から目にしていたことは不思議な縁を感じます。

さて、柔道部の活動に戻りますが下級生に有望な選手も増え、部内に活気も出てきて、新人戦からは連戦連勝、新たに船木賢咲先生も赴任され「密」は「濃密」になり、ついには11年ぶりに全県優勝を果たします。

部員全員でインターハイに

インターハイは、福岡であったのですが、学校をはじめOBの皆さんにも協力いただき部員全員で出かけました。「等しく視野を広げさせる」との方針のもと、先生が各方面に頭を下げてくれたのだと思います。初めて飛行機を経験する1年生が、キラキラした顔で乗りこんできたことを今でも思い出されます。彼は教職に進み、生徒から信頼される校長先生となりました。

秋高柔道部には部員への愛情があふれています。勝つことだけを目的とするのではなく、成長を待ってあげる優しさがありました。明治40年の創部以来、その時々の先生、先輩がつくりあげてくれた伝統のありがたさを、社会人になってから気づいた自分に赤面するばかりです。

NIT Consultant
有限会社 NITコンサルタント
https://www.namahage-it.com/
AI とロボティクスで世の中に
必要とされる新ビジネスを創出します
代表取締役 須田　朝広（平成2年卒）
〒550-0005 大阪市西区西本町1-10-3 新松岡ビル7階
TEL：06-6532-3088　FAX：06-6532-3089
【東京支社】東京都品川区南品川 1-3-2　TEL：03-3561-5556

医療法人 柔心会
男鹿整形外科
介護老人保健施設 たらちね
ショートステイ たらちね
理事長 鎌田玄徳（平成2年卒）
〒010-0341 男鹿市船越字一向67-180
TEL 0185-22-6660　FAX 0185-22-6659

Essay エッセイ

たむら・やすのり／國學院大學文学部神道学科卒業後、明治神宮奉職。先代宮司急逝を受け1998年から現職。秋田高校同窓会監事、太平山県立自然公園協議会委員ほか、秋田高校PTA会長、神道青年全国協議会副会長、秋田ロータリークラブ会長等を歴任。

♪天上はるかに

太平山について

太平山三吉神社宮司　田村 泰教（昭和59卒）

◇太平山登山

昭和58年秋、息も絶え絶え、苦悶（くもん）の表情を浮かべる友人を励ましながら登った岩見三内コース。山頂まで標高差1100メートル、距離約5キロメートル。運動部経験のない彼はよく登り切ったものだと、今つくづく思う。

昭和41年から約30年間行われた太平山登山は、該当年代の同窓が世代を超えて共有する（苦しい？）思い出の一つ。私の在校中は、一般的な旭又（仁別）口のほか、前述の岩見三内と太平野田の三つの登山道を使用し隔年開催されていた。しかし、週休2日制導入等の理由で平成6年を最後に中止となった。

◇28年ぶりの学校登山

「天上はるかに太平山の　姿はけだかし三千余尺～」。昨年9月30日、これ以上ない秋晴れのもと、創立150周年のプレイベントとして、実に28年ぶりの学校登山が実施され、1・2年生約200人の歌声が山頂に木霊（こだま）した。

事故が起きれば学校側が責任を問われる時代。まして幼少の頃から快適な環境に身を置く現代の高校生が、厳しい登山に耐えられる気力・体力を持ち合わせているか？不安要素も多い中で、開催を決断された柘植敏朗校長先生以下関係者の思いが実った瞬間に立ち会えたのは実に幸運だった。仲間と共に絶景を堪能し、達成感を共有できた生徒たちにとっても、忘れ難い青春の貴重な1ページとなったに違いない。

太平山頂上

◇太平山の概要

太平山は標高1170メートル、秋田県のほぼ中央にそびえ、秋田市と北秋田市の境界にあたる。その峰は前岳まで蛇のように西に延び、旭川や太平川などの源流ともなっている。天然の秋田杉やブナ林、御手洗の湧き水など手付かずの自然が残り、清浄な気に包まれる山頂では、県内を一望できる360度のパノラマが広がる。いにしえより薬師の峰、神霊が宿る修験の山、また秋田市のシンボルとして親しまれ、「三百名山」「新日本百名山」として県内外より登山者を迎えている。以前には元プロサッカー選手で実業家の中田英寿さんをご案内したこともある。

◇天職いかに

頂上には当社の奥宮と山小屋があり、私も夏季期間中は、合わせて1カ月ほど山頂勤務に就いている。発電機が止まる夜は漆黒の闇に恐れを感じ、夜空に浮かび上がる天の川や東の山々から昇るご来光に息をのむこともあれば、小屋からわずか10メートルのトイレへ行くことさえも危険な暴風雨の日もある。人知を超えた自然の営みの中で、われわれは無力であり、人間の存在は小さいことを感じる日々。

しかし、そんな中でも山小屋は登山者の道しるべとなり、神社は多くの人々の心のよりどころとなっている。

登山は、山あり谷ありの人生になぞらえられることも多く、困難を乗り越えた後の充実感や清涼感は格別。また「最高の有酸素運動」として、中高年をはじめその魅力に目覚めた若い登山者も増えている。

故山の伝統や歴史・信仰を守り、次の世代に引き継いでいくこと。それが祖父から愚息まで4代に亘り薫陶いただいた母校への、わずかな恩返しにもなるかと思っている。

同窓の皆さんの太平山登山チャレンジをお待ちしております!!

28年ぶりの太平山学校登山

令和5年度 年会費納入のお願い

秋田高校同窓会の運営は、その財源基盤のほとんどを会員の皆さまの年会費に依存しています。円滑な同窓会活動を推進するため、令和5年度の年会費納入にご協力賜りますようお願い申し上げます。同封の払込取扱用紙でコンビニまたは郵便局で納入くださるようお願いいたします。**経費削減のため、できるだけコンビニを優先してご利用ください。**（コンビニ納付は8月31日まで）

《ご注意》郵便局窓口で（ATMでも）現金で支払う場合振込人に110円の手数料が加算されます。

◆会費の口座自動振替のお勧め◆

納入手続きの煩わしさを解消し、“うっかり忘れ”を防止するとともに経費節減を図るため口座自動振替をお勧めしています。ご希望の方は、今年度の会費納入時に払込用紙にある金融機関名を選び〇をつけ、必ず郵便局・ゆうちょ銀行からお振り込みください。

口座振替の新規募集は年1回ですので、お申込みは今回の払込取扱票でお願いいたします。

年会費に関する取り決めは以下のとおりです。

1. 年会費は会員1人あたり2,000円とする。
2. 年会費の請求は単年度のみとし、過年度分は請求しない。
3. 母校卒業後4年間は年会費の納入を免除する。

（財政委員会）

哀悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

敬称は省略させていただきました

令和3年

1月 佐藤 公隆（昭31）
2月 倉田 信也（昭16）
7月 金親 弘（昭27）
10月 高橋 良一（昭29）
越中 信行（昭23）

令和4年

2月 石崎 謙二（昭45）
5月 中村 五郎（昭23）
6月 帯谷 興一（昭34）
7月 京野 三千彦（昭35）
8月 奥山 荘太郎（昭41）
西山 祥雄（昭30）
畑澤 正明（昭40）
鎌田 利臣（昭34）
9月 湊 士朗（昭30）
寺田 和夫（昭41）
宮腰 敬一郎（昭29定）
齋藤 三郎（昭26）
三宅 正高（昭16）
10月 佐々木 士郎（昭27）
後藤 一志（昭38）
佐々木 純一（昭31定）
長嶋 朝雄（昭26）
太田 秀雄（昭29）
松原 宏（昭21）
村山 博（昭32）
赤石 譲（昭46）
黒澤 誠一（昭29）
工藤 幸夫（昭42）
鈴木 敬隆（昭32）
伊藤 康夫（昭35）
眞崎 貢（昭28）
中川 靭絵（昭32）
畠山 靖郎（昭40）
佐々木 敏彦（昭49）
佐竹 義信（昭28）
11月 佐藤 俊誉（平05）
小納 武行（昭38）
沢井 修（昭28）
池田 寛治（昭38）
高橋 武彦（昭26）
伊藤 百樹（昭36）
加藤 民夫（昭31）
鈴木 秀夫（昭20⑤）
雛倉 直人（昭29）
川村 尚史（昭26）
鹿角 慶介（昭35）
松木 運（昭26夜）
中村 孝（昭27定）
藤田 良平（昭28）
近江 宏平（昭25）
小林 忠雄（昭28）
小松 翼男（昭37）
12月 渡部 寛三（昭31）
鈴木 章（昭38定）
齋藤 倫一（昭41）
加藤 和子（昭42）
金光 哲男（昭36）
古関 英三（昭33）
高橋 観（昭53）
小玉啓太郎（昭26）
堀江 剛弘（昭23）
京野 良孝（昭42）
平川秀三郎（昭27）
鈴木 房夫（昭28）
池田 信夫（昭35定）
小松 一夫（昭29）

令和5年

1月 柴田 文男（昭27）
黒澤 進（昭39）
池田 純雄（昭29）
中山 英俊（昭45）
湊 浩太郎（昭57）
畠山 久雄（昭40）
小西 悠一（昭41）
浪岡 通（昭30）
中川 巌（昭26）
進藤 肇（昭27）
武藤 寛二（昭30）
高橋 清治（昭34定）
広島 芳雄（昭28）
萩野 瑞（昭30）
相馬 高胤（昭20⑤）
木場 銀勇（昭35定）
2月 佐藤直一郎（昭22）
小笠原慶一（昭28定）
太田 英悦（昭28）
佐藤 孝子（昭34）
加藤 三朋（昭22）
佐藤 伸一（昭43）
佐藤 昌義（昭23）
足利 昇（昭28定）
縄田屋圭吾（昭45）
佐藤 公昭（昭57）
3月 蛭田 聰（昭33）
佐藤 涼一（昭50）
佐々木義之（昭46）
半田 巌（昭30）
鈴木 衛（昭31）
森 邦雄（昭33）
鈴木 侃市（昭27）
長谷川定夫（昭43）
益子 清孝（昭32）
吉成 厚（昭33）
三浦 滋（昭38）
大堤与三郎（昭20④）

注（昭20④）は旧制中学を4年で卒業、（昭20⑤）は5年で卒業したことを表す

株式会社 eps 越中谷写真商会
TEL：018-845-1573 FAX：018-846-6968
振袖専門店 Ondine オンディーヌ秋田店
TEL：018-853-7688 HP：https://www.ondine.jp/akita/
〒011-0946 秋田市土崎港中央2丁目2-4
取締役会長 越中谷 正美（昭和29年卒）
代表取締役 越中谷 孝一（昭和59年卒）
常務取締役 越中谷 正博（平成6年卒）
技術営業部 越中谷 優一（平成22年卒）

司会、モデル、ナレーション
北川 楓夏
（平成22年卒）

Instagram
StellA モデル事務所ステラ（株）LAD agency
秋田市牛島東5-3-26 2F
018(838)0188
info@akitamodel.com

ALCY
あきたレディースクリニック安田
院長 安田 師仁
（平成2年卒）
秋田市土崎港中央1丁目17-11
TEL：018-853-7535

山王整形外科医院
湊 昭策
（昭和36年卒）
湊 貴至
（平成2年卒）
〒010-0955
秋田市山王中島町15-18
TEL 018-864-1100

つどい TSUDOI

母校の発展と地域貢献を確認

秋田市役所羽城会

ANAクラウンプラザホテル秋田で1月13日、118人が参加し、秋田市役所羽城会総会を開催しました。同窓会から中村順子副会長、庫山徹副校長をご来賓に迎えたほか、顧問の柿﨑武彦副市長（昭和52卒）、特別会員の市議会議員、監査委員の皆さまなど多数の方にお越しいただきました。

総会では決算、予算案が承認されたほか、新会長の鈴木勉氏（昭和57卒）をはじめ各役員が選出されました。総会に続き懇親会が行われ、柿﨑副市長のご挨拶、庫山副校長から在校生の進学や部活動等のご報告があり、中村副会長の乾杯のご発声により、にぎやかな宴が始まりました。新入会員紹介では、新会員6人の紹介があり、秋高オリジナルのスポーツタオルとOG会である若菜会の便せんセットを贈呈して入会を歓迎しました。

最後に、校歌を5番まで流し、岩谷政良市議会議長（昭和42卒）からご挨拶をいただき、中締めとなりました。厳重な感染症対策のもとで行われた総会でしたが、会は大いに盛り上がりました。

（事務局・伊藤 雄心＝平成2卒 記）

コロナ終結期待を込めての賀詞交歓会

秋田高校東京同窓会

1月28日（土）晴れ、コロナ前と同じホテル「アルカディア市ヶ谷」にて3年ぶりに東京同窓会の賀詞交歓会を開催しました。コロナ第8波も少し収まりつつある時期でした。例年賀詞交歓会の前には学生との交流会を催していましたが、コロナの影響やオンラインの普及により、参加希望者が4人と少なかったためZoomで秋田にいる平成16年卒の須田紘彬氏と学生を直接結び行いました。ホテルの会場では同じく平成16年卒木村佐知子さんに「令和5年版 汝 何のためにそこにあり哉」と題してご講演いただきました。第28代校長鈴木健次郎先生の「汝 何のためにそこにあり哉」を深く調べられ、本人の秋高時代や今後のこと、そして令和の時代に活かしていきたい意気込みを熱く語られました。その後会場を移して、賀詞交歓会が盛大に行われ、久しぶりにお会いするうれしさと元気な姿に皆、喜び楽しみ、一人一人近況を話していただき2時間という決められた時間が一瞬に過ぎました。その後二次会・三次会へと繰り出す人が多くいました。

（幹事長・鎌田 進＝昭和47卒 記）

コロナ禍を経て3年ぶりに開催

県庁支部

2月24日、三浦廣巳同窓会副会長、佐藤悦紹同窓会事務局長、柘植敏朗校長をご来賓に迎え、安田浩幸教育長（昭和54卒）、神部秀行副知事（昭和56卒）、猿田和三副知事（昭和57卒）、県議会の杉本俊比古議員（昭和45卒）、鈴木真実議員（昭和53卒）、北林丈正議員（昭和54卒）の顧問6人を含む総勢62人が参加し、県庁支部総会・懇親会を開催した。

懇親会では神部顧問の挨拶、杉本顧問の乾杯の発声を皮切りに、三浦副会長、安田顧問、退職者のスピーチのほか、柘植校長からは創立150周年を記念した動画と併せて高校の現状についてご紹介いただいた。最後は伊藤徹平さん（平成16卒）のリードで、マスクを付けて5番まで校歌斉唱を行い、猿田顧問の三本締めでお開きとなった。

新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催ということもあり、大いに盛り上がった宴となった。

（七尾 了俊＝平成13卒 記）

3年ぶりに定時総会

汀友会（同窓会土崎支部）

汀友会（秋田高校同窓会土崎支部　澤田石晶会長＜昭和46卒＞）の令和4年度定時総会が、昨年11月18日、秋田市土崎のホテル大和で開催されました。コロナ感染防止に万全を期し、3年ぶりに総会。秋田県内から29人が参加しました。

来賓として、柘植敏朗校長を迎え、母校の近況を中心に、ごあいさつをいただきました。また、同会副会長でうちやま眼科医院院長の内山博之さん（昭和53卒）に、「瞼（まぶた）の病気あれこれ」と題し、健康講話を行っていただきました。

集い合った会員は、お互いの近況等を語り合いながら、次世代へしっかりと襷（たすき）を繋いでいけるように約束し合うことができました。なお、令和5年度総会については、本年11月中・下旬に開催する方向で準備を進めていきます。

（事務長・高山 良一＝昭和53卒 記）

「つどい」投稿について

❶「つどい」欄への投稿は毎回多数にのぼるため、スペースの制約からやむを得ず、原稿を短縮したり次号に回すことがあります。**原稿は概ね400字（原稿用紙1枚）**を目途にお願いします。
❷原稿の最後に執筆者名（支部等にあっては卒業年次も）をお忘れなく。
❸投稿いただいた原稿、写真はお返ししません。どうぞご了承ください。〈広報委員会〉

知の探究

総合的な探究の時間に行われている「知の探究」の令和４年度発表会が行われ、各学年の最優秀作品が決まった。

研究の楽しみ方

3年　佐藤 太陽

私は研究を進める上で最も重要なことはテーマ決めだと考えています。そのため、壮大なテーマにこだわらず、私達は生活に身近な黒板に着目し、「黒板の消し方を最適化する」というテーマで研究を行いました。研究では黒板の消し方を綺麗さ、速さ、チョークの粉の飛ばなさという要素で多面的に評価し、黒板の消し方をマニュアル化しました。

研究を振り返って最も印象に残っているのは知の探究コンテストに向けた班員との意見交換です。論文の情報から何を取捨選択してスライドにまとめるか、何を口頭で補足すれば聞く人に伝わるかなどといった議論を妥協なく重ねることができたからこそ、発表を最高に楽しむことができたのではないかと思います。

当たり前ですが、この研究は私一人では絶対に完成しませんでした。班員はもちろん、アドバイスをくださった担任の奈良先生、アンケートに協力していただいた生徒の皆さま、発表に質問をしてくださった方々には心より感謝申し上げます。

最優秀グループの発表の様子

繋がるということ

2年　藤井 由紀子

我が秋田県では、少子高齢、過疎が喫緊の課題であり、時代や社会の変化とともに、家族の働き方、家族のあり方も多様になってきています。そこで私は、地域医療の現状について調べ、人々がそれらを利用してどのように心豊かに人生を送っていけばよいのかを未来を担う若い世代の仲間と考察したいと考えたため、秋高1年生や地元住民の方の協力を得ながら本探究活動を行いました。

今回の探究活動において、秋田県では予想以上に地域医療に対して取り組みがなされており、先進的な医療・介護サービスも行われていることがわかりました。それらの取り組みと併せ、今回何かあったときに頼りになると感じたのが、地域住民同士の繋がりです。近所の方が「元気ですか。」と野菜を届けにきてくださるようなさりげない触れ合いも、少子高齢、過疎が進む中に地域住民同士が結びつく、強固な繋がりになると思いました。

私は今、生物部でも探究活動を行っています。ときに困難さを伴うこともありますが、仲間と課題に向き合い考察に夢中になっている今が、一番充実していると言えるかもしれません。

秋高NOW（ナウ）

秋田高校同窓会だより vol.113
AKITA HIGH SCHOOL alumni association news
2023年5月21日

文武両道

サッカー部

サッカー部は「全県ベスト4以上」を目標に短期集中型の練習を心がけており、効率良く活動することで全員が文武両道を実現しています。

コロナ禍で度重なる遠征の中止や週末の模試続きで、他校に比べ対外試合の機会も少なく、物足りなさを感じることもありますが、その分「秋高だから」と思えば勉強にも身が入ります。

昨年度の高校サッカー選手権秋田県大会は、シード校の秋田西を下し勝ち進んでいたものの、準々決勝が2年生の修学旅行と重なるというまさかの事態で、1年生と春に引退していた3年生に出場してもらいましたが、あと一歩のところで目標達成できませんでした。

本荘高校招待試合にて

しかし本荘高校の記念招待試合で勝利を収めたり、全県新人戦で秋田南を破りベスト8、前述の通り選手権でも県ベスト8という成績を残せたことはうれしい成果でした。

今年も支えや応援をいただいている多くの方々への感謝を忘れず、最高の仲間たちと悔いの残らない結果を出せるよう日々の練習をより充実させていきたいです。

〔3年　正木　珀〕

〝数楽〟のススメ

数学同好会

私達は毎週水曜日に数学セミナー室で活動しています。会員は3年生13人、2年生21人で、文系理系問わず参加しています。昨年度の1年生が多数加入して下さり、ひっそりとしていた同好会がかなり大規模な集団となりました。

普段の主な活動は、名前の通り数学の問題を解くということです。複数人で考えていると、1人で参考書を開いているだけでは得られないような学びがあると思っています。また毎年1月に開催される数学オリンピックにも積極的に参加し、本選へ進むことを目標に励む人もいます。

しがない数学徒達

数学に取り組むとき、受験で必要だから…という消極的な理由で取り組んできた人が多いのではないでしょうか。たまには入試問題という箱庭にとらわれずに、楽しむという意識をもつといいと思います。秋高祭では数学に触れ、楽しんでいただけるようなものを企画しています。少しでも〝数楽〟したいと思った方、一歩踏み出してみませんか？

〔3年　本郷　璃生〕

事務局通信

今年は275人の新入生を歓迎するかのように、入学式の4月6日にうぐいす坂の桜が開花、数日後には満開になった。コロナ禍でできなかった部活勧誘の元気な声や、学食帰りの談笑が同窓会館にも聞こえていた。「文武両道」充実した高校生活を願っている。

同窓会では、卒業10周年など若い年次の同期会開催を支援している。コロナで延期していた同期会を計画している年次も同窓会事務局にご相談を。通信費や幹事会への補助、先輩年次の開催ノウハウも伝授している。（悦）

編集後記

3年の任期を終え、広報委員長の任務を解いていただいた。任期がスタートした2022年春は、突如現れた新型コロナウイルスの感染が拡大。母校も3月は一斉休校。校舎は閑散としていた。そんなコロナも感染症法上の位置づけが5類に移行し特別な対応は終了した。秋田高校は今年、創立150周年を迎える。母校も同窓会の活動も一段と輝くことを期待したい。（菅）

発行者／秋田県立秋田高等学校同窓会　秋田市手形字中台1番地
電話 018－832－9553　FAX 018－832－9588
印　刷／秋田協同印刷株式会社